

運動編

新政府は 大久保利通ら、維新の立役者となった薩長など雄藩出身者などが中心となりました。

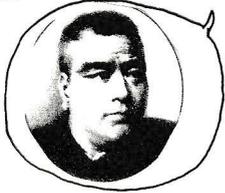


↓
(藩閥政治 と呼ばれた)

明治六年の政変ののち、野に下った人物たちのその後...

征韓論を許して却下された、留守番組だった板垣退助や西郷隆盛らが政府から去って行った(下野した)出来事。

西郷隆盛



征韓論で負けて鹿児島に帰郷したが、新政府に不満を持つ元薩摩藩の士族たちにおしたてられ、大規模な反乱を起こした。

最後の士族の反乱 西南戦争

- ・帯刀禁止
- ・給与廃止
- ・商売失敗

西郷隆盛
+
元薩摩藩の士族たち

VS

新政府
+
徴兵された農民たち

↓ プライドをかけた戦い

↓ 武器が近代的

(負)

(勝)

反乱軍は政府軍に鎮圧され、西郷隆盛は桜島が見えるところで自決し戦争は終わった。(ちなみに、西郷らと共に下野した江藤新平は佐賀の乱をおこして負けた)

これより、武力による士族の反乱はなくなり、言論による政治改革の力強さが強まっていきました。